第３回　江陵中学校区　学校運営協議会(概要)

日時　令和３年12月21日(火)18時～19時30分
場所　滝川市立江陵中学校　会議室

【司会進行　事務局校　教頭　櫻井貴幸】

佐藤安憲会長

１．会長挨拶では、**佐藤安憲会長**よりご挨拶がありました。
「書面会議を含めると、３回目の学校運営協議会の開催となりました。年末を控え、お忙しい中お集まりいただき、感謝申し上げます。新型コロナウイルス感染症が発生し、日常に大きな影響を及ぼしてからもう２年になります。あっという間に月日が過ぎ去り、令和３年も終わろうとしています。やりたいこともできず、計画を立てることもできず、大変な状況ではありますが、我々以上に学校が大変だろうと思います。校長をトップとして、様々な対策や対応をしていただき、その甲斐あって幸いにもクラスターの発生には至っておりません。さて、来年４月の江部乙中学校と江陵中学校の統合にあたり、江部乙小学校が江陵中学校区のＣＳに参加した場合の対応について年度当初から協議してきました。先日の江部乙中学校区の学校運営協議会にて、江部乙小学校は様々な状況を判断し、江陵中学校区のＣＳに加入する判断をしたと伺っております。本会の議題としては江部乙小学校の加入の件が主になると思います。委員の皆様より、忌憚のない意見をいただきたいと思います。細かい点についても様々な疑問や意見が出てくるかと思いますが、まずは大本の根幹についての協議をお願いしたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。」

櫻井貴幸教頭

これ以降は**佐藤安憲会長**が議長として議事を進行いたしました。

２.「経過報告」について、**滝川市立江陵中学校　櫻井貴幸教頭**より、議案通りの報告がありました。

3.「全体協議」では、まず**(1)【確認】本会における今後の江陵中学校区CS体制に関する方向性について**、資料の通り確認がありました。

全体協議の様子

(2)【報告】令和4年度江陵中学校区CSの体制についてでは、資料の通り報告がありました。

(3)【確認】※(2)を踏まえた規則・会則の一部改正・変更の手続きについてでは、**①CSの体制、②令和４年度以降構成人数（暫定措置）案、③市教委によるCS運営マニュアル手続きを経て新年度体制確定**について、資料の通り確認および報告と提案がありました。

<各委員から出された主な質疑応答・協議>　○　質問　◇　見解　△　意見・要望

②令和４年度以降構成人数（暫定措置）案について
○　江部乙中学校では校長と教諭が学校運営協議会委員である。統合後はその２名分を抜いて３名の委員の方に令和４年度の３月の任期満了までお願いする形になるのか。
◇　校長先生をはじめとした教員や、ＰＴＡ会長については江部乙中学校区・江陵中学校区の事務局同士で協議し、決定したい。
△　③の部分に、「２５名以内」という記載があるため、細かい人数について現状は定める必要がないと思う。
◇　今後江部乙中学校区の事務局と協議する。

４．江陵中ＣＳ・江部乙中ＣＳ「ＰＴＡ役員合同交流会（仮）」について、資料の通り提案があり、詳細については新型コロナウイルス感染症の感染状況を鑑みて検討していくこととなりました。

5. その他では、特に連絡・質問等はありませんでいた。

6. 次回会議について(事務局)では、資料の通り報告がありました。

7. 部会協議では、各部会に分かれ**(1)経過について、(2)今後の活動予定について**協議されました。

＜教育支援部会＞ 	・「江陵中学校区一斉交通安全街頭指導（740 運動）」の反省。 ・コロナ禍を理由に現状維持または後退することを安易に選択せずに、部分的にでも昨年度より一歩前進できるようにしていきたい。 ・保護者や地域住民はもとより、児童生徒にも 740 運動を実施しているという認識を高めたい。 ・立哨するに際し、旗や腕章を借用したい。 ・次年度は江部乙小学校区の立哨も検討していく必要がある。
＜小中連携部会＞ 	・家庭学習週間の取り組みについて、各校の取り組みを交流。同じ期間に３校そろって実施できたのは成果と言えると思う。今後どのようなことができるのか、各校で検討の上協議していきたい。 ・総合的な学習の時間の取り組みについて、各校の取り組みを交流。「江陵校区における、地域・小中連携・協働による教育活動一覧（たたき台）」をもとに、見学先や学習内容が被らないようにしていきたい。 ・ＩＣＴスキルの体系的な指導について、滝川第二小にて「ＩＣＴスキル体系表」を作成しており、滝川第一小と江陵中ではそういった取り組みがないため、滝川第二小の体系表に中学校部分を付け加え、江陵中学校区として９年間のものにするとよいのではないか。 ・中１ギャップ解消事業に関わって、冬休み中か３学期のはじめに研修会を実施したく、その際には小中連携部会のメンバーか各学校１～２名の参加をお願いしたいと考えている。 ・各校の状況・情報や資料等の共有方法について、共有フォルダを作成したのでそこで保管、いつでも閲覧できるようにしたいと考える。 ・第４回の会議では反省・総括となる。これまでの取り組みについて「成果・課題・改善方法」を検討してほしい。 ・「まなびのさかみち」については各学校で回覧するなどして意見を募り、次年度のものを作成したいと思う。
＜評価運営部会＞ 	・前回の部会では、学校訪問が困難な状況であり、実際に学校の様子を参観できないまま評価を実施することになるという話があった。 ・現状、まだ予断を許さない状況ではあるが、保護者による授業参観や学校訪問が実施できているため、１月後半から２月前半の期間において、学校評価部会で三校を訪問し、実際に学校の様子を見たうえで評価していくこととする。 ・感染状況を踏まえて中止の措置もあり得る。 ・実施の期日については事務局で学校評価委員に希望調査をし、各校の訪問日を決定していく。

部会協議終了後、各自解散となりました。
委員の皆様の熱心な協議により、実り多き会議となりました。ありがとうございました。